

コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止

「体育の日」が終わりました。今年は、運動会ではなく「体育の日」としての行事でした。考えてみれば、新しい学年になってから、初めての大きな学校行事だったと思います。

私は、練習の時から、皆さんの様子を見ていましたが、感染症対策に十分気を付けながら、できることをしっかりやる姿に感心していました。

そして、「体育の日」本番。皆さんが、一生懸命踊り、演奏する姿に感動しました。また、ゴール目指して精一杯走り姿に、心が躍りました。皆さんのがんばる姿は、お家の方も、地域の方も、うれしく思ったと思います。皆さんの活躍は、コロナで何となく暗い世の中を明るくしてくれたのです。そして、皆さんは、大人にも勇気や元気を与える、そんな力を持っているのです。

さて、テレビや新聞では、コロナウイルスに関する話題が毎日報道されています。ワクチンや有効な薬の開発も、もう少し先になるようです。8月に文部科学大臣から「児童生徒等や学生の皆さんへ」というメッセージが出されました。とても大切なメッセージなので、ここで読んでみます。よく聞いてください。

「児童生徒等や学生の皆さんへ（文部科学省）」を読む

このメッセージにあるように、感染した人たちや症状がある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちをもってほしいと思います。